

都市再生整備計画 事後評価シート
運河駅周辺地区

平成27年2月

千葉県流山市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	流山市		地区名	運河駅周辺地区		面積	29.7ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	2,512百万円	国費率	36.90%			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	運河駅東口駅前広場整備事業、運河駅東口駅前道路整備事業、駐輪場整備事業、ふれあいモール整備事業、ベデストリアンデッキ整備事業、自由通路整備事業								
			提案事業	運河駅橋上駅舎整備事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	ベデストリアンデッキ整備事業		関係機関との調整により工法の見直しが必要となり、人工地盤構造を盛土構造に変更		影響なし				
			提案事業	なし								
	新たに追加した事業		基幹事業	なし								
			提案事業	なし								
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし					
		変更	平成21年度～平成25年度									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	運河駅東西のアクセス時間(車椅子による移動時間)	分	7	平成20年度	3	平成25年度	3		あり なし	駅東西を結ぶ自由通路及びエレベーター等の設置により障害を抱えた方も移動が容易となった。	-
	指標2	無断駐輪の解消	台/月	71	平成20年度	14	平成25年度	26		あり なし	駅近傍に平面駐輪を整備し、放置自転車が月を遡うごとに減少したが、目標達成には至っていない。	平成27年3月
	指標3	地域環境の満足度	%	24	平成20年度	100	平成25年度	80		あり なし	駅東口の開設や関連する公共施設の整備等、地域の環境は大きく変化したが生環境からすると満足度を達成することはできなかった。	-
	指標4									あり なし		
指標5									あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	利用者の満足度	%	-	-			100			完成後の運河駅の利用者の施設満足度については、聞き取り調査をしたすべての人が利用しやすくなったと回答を得た。	-
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	・整備されたふれあいモール(ムルデル記念通り)は、ベンチ等も設置され、学生や利根運河を訪れる人の憩いの場として活用されている。 ・平成14年度に地元住民、関係係利者、周辺の大学や宗教法人等が「運河駅周辺まちづくり研究会」を発足し、駅や駅周辺のまちづくりに対する意見を集約し地元の意見を反映した整備が可能となった。											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	工事説明会 歩行者専用道路の愛称募集				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・地域の住環境の満足度を向上させるために、事業計画段階から説明会を実施し、市民の意見を取り入れる。 ・市民に親しまれる歩行者専用道路として利用していただくために愛称を募集した。	
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2 - 2 地区の概要

運河駅周辺地区(千葉県流山市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
交通環境の整備を契機とした住環境の向上を図り、誰もが安全かつ快適な地域生活拠点づくりを目指す。		運河駅東西のアクセス時間 (車椅子による移動時間)	単位: 分	7	H20年度	3	H25年度	3	H26年度
		無断駐輪の解消	単位: 台/月	71	H20年度	14	H25年度	26	H26年度
		地域環境の満足度	単位: %	24	H20年度	100	H25年度	80	H26年度
		駅利用者の満足度	単位: %	-	-	-	-	100	H26年度
<p>ふれあいモール整備事業</p> <p>自由通路整備事業</p> <p>運河駅橋上駅舎整備事業</p> <p>駐輪場整備事業</p> <p>運河駅東口駅前広場整備事業</p> <p>運河駅東口駅前道路整備事業</p> <p>基幹事業 (高質空間形成施設) ふれあいモール整備事業 (ムルデル記念通り)</p> <p>基幹事業 (道路) 運河駅東口駅前広場整備事業</p> <p>基幹事業 (道路) 運河駅東口駅前道路整備事業</p> <p>基幹事業 (地域生活基盤施設) 自由通路整備事業</p> <p>提案事業 (地域創造支援事業) 運河駅橋上駅舎整備事業</p> <p>基幹事業 (地域生活基盤施設) 駐輪場整備事業</p> <p>関連事業 (排水施設整備) 雨水・汚水処理施設整備</p> <p>凡例 基幹事業 提案事業 関連事業</p>									
まちの課題の変化		<p>課題1: 東西を鉄道で分断されている状況の中で、運河駅周辺の主要施設は駅東側に集中しており、周辺の市街地整備の状況からみても東口の整備が必要。橋上駅舎、自由通路、東口駅前広場、道路の整備により駅東西のアクセス性の向上及び安全性の確保ができた。</p> <p>課題2: 高齢化時代に向けて、整備施設はバリアフリー化を徹底し、「人にやさしい、まちづくり」が必要。自由通路へのエレベーターの設置及び道路、広場等のバリアフリー構造により利便性・安全性が向上した。</p> <p>課題3: 利用者の交通の安全を確保するため、駅と主要施設を結ぶ歩行者専用道路の整備が必要。ふれあいモール(ムルデル記念通り)の整備により利用者の安全性の確保ができた。</p> <p>課題4: 利根運河の魅力ある観光の利用が必要。観光案内板及びサインを設置したことにより、観光資源の有効活用が図れた。</p>							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> 新しく完成した道路の安全対策(自転車運転のマナー向上)に努める。 道路・駅前広場・歩行者専用道路に対して、安心・安全な状況を維持させるための維持管理を行う。 							